

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyo.org/>

第135号

第65回写真道展にむけて



審査委員長
米 美 知 子

この度、歴史ある写真道展の審査委員長を努めさせて頂くことになりました。自然が豊かな北海道は毎年必ず撮影に訪れていますので、初めての審査ではありますがとても親しみを感じています。

■応募部門を考える

応募部門は第一部の自由、第二部の観光・産業、第三部のネイチャーフォトと分かれていきますので、まずどの部門に応募するのが重要になります。特に部門の線引きが難しい写真どちらの部門でも該当するような写真の場合は、応募部門の選び方によって入賞の可能性が変

わる場合があるのです。

第一部はその名の通り「自由」部門です。作者のアイデアや想いが詰まった作品を期待します。また、この部門には人物が多く応募されると思いますが、最近の人物写真はお祭りやファミリースナップ、シルエットなど、肖像権に関しても問題にならない被写体がこのコンテストでも多く応募されています。色々と難しい問題をクリアしなければならぬとは思いますが、被写体になつてくれる方とのコミュニケーションや撮影後の連絡などをきちんとできれば自然な表情の見える写真は撮れると思いますので、そのような写真も是非見せて頂きたいと思えます。

第二部は北海道ならではの写真を期待しております。また知られていない素敵な景色や後世に残したい伝統文化・産業遺産など、バラエティーに富んだ作品を楽しみにしております。第三部のネイチャーフォトですが、最近ではデジタルカメラが主流になり、動きのある動物や野鳥の作品が多く応募されてくると思いま

す。しかし簡単に撮れる時代になった今、ただ撮れているだけでは表現の域に達しません。その生物を取り巻く環境やドラマなども取り入れたオリジナリティーある作品を期待します。ネイチャーフォトという響きで、どうしても植物寄りの写真などをイメージされると思うのですが、せっかく広大な北海道にお住まいなので、ダイナミックなネイチャーフォトも見たいと思います。そしてネイチャーフォトですべての合成をしない、ストレートでの現場勝負の自然な写真を多く見ることができたら嬉しく思います。

■プリントも重要

審査はプリントの美しさも重要になってきます。インクジェットによる自家プリントも多いとは思いますが、プロラボプリントと比べられるわけですから、ご自身のプリント技術も高めないでなりません。撮影から最後の応募プリントまで丁寧にされた方が、やはり入賞の確率が高くなると思います。デジタルカメラが主流になった今こそ、作者の努力やオリジナリティーが問われる時代だと思えます。どこかで見た作風や場所、加工や合成に頼った写真ではなく、さすが北海道はレベル高いですねと思わせてくれる作品を心より期待しております。

略歴・東京生れ。一九九六年独学で写真を始める。アマチュア時代には全国で数々の賞を受賞。「夢のある豊かな作品」をテーマに、北海道から西表島まで日本の森と色彩美を撮り続けている。著書「桜(はなもよう)」「森に流れる時間」など多数。日本写真家協会(JPS)会員・日本写真協会(PSJ)会員。

心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。
旅の出会いはフォトジェニック。
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは
TEL(011)241-6401
ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間
月～金曜日 9:30～18:00
土曜日・日曜日・祝日は休業

旅行企画・実施
安心と信頼の

道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

私が期待する写真



滝野 邦保
写真道展
実行委員長

第65回写真道展が近づいて来ました。最近はお応募作品に特色が無くなってきているといわれますが、〈灯台もと暗し〉のごとく、ごく身近に思いもよらぬ被写体があるもので、身の回りを見つめ直すことが大事です。

私自身はスナップショットを主体に作品を作っています。そこには写真という表現のあらゆる要素が含まれているのではと思っています。

スナップは最低限のマナーさえわかまえていけば、撮影する者の自由です。好きな場所を歩き、たまたま出会った物事、人々や街並み、建物、車、光：何でもよいから目に飛び込んできた瞬間にシャッターを押せばすべてが完結します。偶然に身を任せた予測できない撮影だからこそ、予定調和に陥ることなく写真の持つ奥深い魅力が現れてくるのです。

アンリ・カルティエ・ブレッソンの

「決定的瞬間」という言葉もあるように、スナップはカメラで射撃のようにその一瞬をつかみ取る作業です。同時に、私は見えているから撮ったのではなく、写ったから見えるものにも興味がありません。狙っているのは撮れないものが写っているときに、不思議な写真の力を感じるからです。スナップの極意は無為にたくさん撮ることと同時に、撮った作品を繰り返し返して見て、それまで自分の見ていなかった何かを発見することだと思えます。ブレッソンの撮影スタイルは演出過剰だという評論家もいますが、私は多少の演出があっても良いと思っています。

さて第65回写真道展審査委員長は、プロ写真家の米 美知子氏で、主にネーチャーフォトの専門家、前田真三賞も受賞した方です。

道展では各部の分類をよく確かめて応募し、新しい感性で写真を楽しんでいただきたいと思えます。特に第3部は競争率の激しい部門で、毎回類似作品や図鑑的な写真も多く見受けられます。また人工的環境の中での動植物が被写体の場合は、第1部への応募の方が良いと思えます。写真は光と影が基本ですが、造形芸術的な表現も取り入れ、主役を生かし脇役の扱いにも十分注意しながら作画することです。見る者の五感に響く印象に残る作品を期待しています。

私の1枚の写真は、子供の通う小学校の運動会のスナップです。私が写真をはじめたのは、昭和52年に子供が生まれ、成長の記録のために、初めて一眼レフカメラを購入しました。その後、本格的に写真を勉強しようと平成元年にカメラクラブに入り、先輩たちからモノクロ写真を教わりモノクロをメインに撮影していました。

随想=私の一枚

(シリーズ-62)

小樽支部長

川原 静雄

「観覧席」



この写真は平成3年のモノクロ写真で、学校のグラウンドが狭く、観覧席が十分とれないため、斜面に設置された大型の木製遊具を観覧席代わりに利用していました。次第に木製遊具に腰掛ける人が増えてきて、お年寄り、ご夫婦や子供達など、様々な年代の人々の応援する表情が面白いと思いついたものです。クラブで毎年開催する全紙展用に大きく伸ばすと、小さなプリントではわかりづらかった人々の表情がさらに対比できて、私のお気に入りの一枚となりました。

この小学校を含め近隣の3校が平成30年3月には新設校に統廃合されことになり、妻と子供、そして孫まで通ったこの学校とお別れとなります。さらに3校のうちの1校に私の母校も入っており、母校が無くなることは、寂しい限りですが、幸いなことに、一番下の孫が平成30年4月から新設校に1年生で通うので、引き続き運動会でのスナップを楽しみにしています。

この小学校を含め近隣の3校が平成30年3月には新設校に統廃合されことになり、妻と子供、そして孫まで通ったこの学校とお別れとなります。さらに3校のうちの1校に私の母校も入っており、母校が無くなることは、寂しい限りですが、幸いなことに、一番下の孫が平成30年4月から新設校に1年生で通うので、引き続き運動会でのスナップを楽しみにしています。

支部探訪―帯広

支部長 西島 啓喜

65年前、協会発足と同時に

帯広支部は、昭和27年、北海道写真協会発足と同時に、十勝・帯広の写真文化の向上発展と会員相互の親睦を図ることを目的として設立されました。最盛期には40名を超える会員が切磋琢磨していたと聞いており、そこから帯広・十勝の写真文化を担う有為な人材が多く育っていきました。

現在は男9人、女1人の計10人というごちんまりしたメンバーで活動しています。活動は毎月例会と5月の「おびひろ市民芸術祭」に出品が恒例となっています。

毎月例会と年度賞

支部例会風景 指導は大崎審査会員



グランプリ賞、各月の最優秀作品を月例優秀賞、また年度の終わりにには各自の自信作3点を持ち寄り写真協会本部から年度優秀賞として表彰されます。これらの賞は1月の総会の折、道新帯広支社から表彰状を渡していただいています。



西島支部長作品「寒風疾走」

全紙以上で展示の市民芸術祭

「おびひろ市民芸術祭」は管内の各文化団体が実行委員会を組織し、写真・絵画・書道を市民ギャラリーに一堂に展示し市民に見てもらっています。絵画・書道は大作が多く、写真も大きくしないと見栄えしないことから全紙以上で展示しています。この時期は舞台・華道・茶道など帯広・十勝で活動する文化団体の発表があちこちで行われ帯広市の一大文化イベントになっています。

活発な個人活動

会員はそれぞれ個人的にも活躍しており、大崎和男、辻川和夫両審査会員は年に数回の個展を開催し、また大崎氏は協会の副会長としても活躍されています。吉仲功氏は今年度会友から審査会員に昇格し、更なる活躍が期待されています。清水 孝氏も高文連写真専門部の専門委員として、また教職員美術展の招待作家として学生・教職員の写真レベルの向上に活躍されています。

写真のあり方の変化

支部会員が少ないのは寂しさも覚えますが、決して写真文化が衰えたのではなく、写真の方向性が変わってきたためと思われています。むしろ写真愛好家は増えてきていると感じています。かつての写真愛好家といえ、男性中心でカメラのメカやDPEの技術的な面に関心が強い、いわばハードな時代であったと思います。しかし、今や「カメラ女子」「インスタ映え」という言葉があるように、(広い意味での)写真の担い手は女性層・若者層に移ってきました。感性を重視するソフトな時代になってきたと言えます。

多様な楽しみ方

媒体も「紙」から「パソコン」や「スマホ」で見られる時代になってきており、物理的な展覧会に代わり、ネット空間で映像を共有し鑑賞する時代になってきています。その世界では「一眼レフよりもスマホのほうが目的にあっている場合もあります。」

しかし写真をどう撮り、どう効果的に見せるか、ということにおいては基本的な技術は変わらないわけで、そうした写真の楽しみ

方から一眼レフで作品を作る楽しさを見出す人が出てくることを期待したいと思います。

92歳で月例会第1位 札幌―松井さん

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
一年ほど前、92歳で札幌支部に入会の松井乾(けん)さんが10月の札幌支部例会で二位となりました。

大正生まれの松井さんは、師範学校時代からカメラを始め、軍隊生活を経て教職に就き、小学校校長を退職後道写協に入会。多忙で二度退会の後、昨年11月再入会しました。毎月の夜の月例会にも、ほとんど出席し周囲に熱意を伝える松井さんに、60〜70代の仲間の会員が「我々も、まだ頑張れる」等と大きな刺激を受けています。



自作のパネルの前で、松井さん1月で93歳です

右写真
2月28日付北海道新聞朝刊札幌圏版から

支部例会成績

札幌 支部長 山本隆晟

- ▽8月例会18日 阿部悦子審査員選考)
 - ①安田敏彦②木全正樹③林繁造④松本雅彦
 - ⑤藤原富⑥山形典夫⑦三橋和雄⑧山岡勝
- ▽9月例会15日 加賀谷重雄審査員選考)
 - ①城伊志勝②林繁造③古川敬子④安田敏彦
 - ⑤掛村一憲⑥府中紀一⑦渡辺勝⑧裏征子
 - ⑨貝沼正雄⑩難波江
- ▽10月例会20日 経塚剛敏審査員選考)
 - ①松井乾②古川敬子③林繁造④難波江
 - ⑤貝沼正雄⑥原禎子⑦掛村一憲⑧澤田一夫
 - ⑨渡辺勝⑩脇田健司
- ▽11月例会17日 河江利幸審査員選考)
 - ①澤田一夫②渡辺勝③安田敏彦④古川敬子
 - ⑤林繁造⑥飯高光紀⑦貝沼正雄⑧小賀野京子
 - ⑨浦崎毅子⑩坂本千恵子

二笠 支部長 伊藤修身

- ▽7月例会(28日 審査互選)
 - ①③⑥金武紀雄②③古平文男③澤田住子
 - ▽8月例会(25日 審査互選)
 - ①④伊藤修身②金武紀雄②④古平文男
 - ▽9月例会(加賀谷重雄審査員選考)
 - ①高橋英昭②古平文男③金武紀雄④石橋昭二
 - ⑤谷内純哉
- ▽支部撮影会(7月30日 北海道開拓の村)
推薦「いななぎ」伊藤修身(特選) 谷内純哉 高橋英昭(準特選) 上田進・金武紀雄・古平文男 (入選) 河合外志 澤田住子 他



支部撮影会 推薦「いななぎ」カラー 伊藤修身

栗山 支部長 黒田幸則

- ▽9月例会(15日 山岸幸雄審査員選考)
 - ①②③黒田幸則②③齋藤優子③敦賀千恵子
- (入選) 黒田幸則 敦賀千恵子 齋藤優子 中島武士

小樽 支部長 川原静雄

- ▽9月例会(6日 瀧野邦保審査員選考)
 - ①②一條周二
 - ③嵯峨秋雄
 - ④松居辰昭
 - ⑤根本辰男
- ▽11月例会(11日 日本郷正利審査員選考)
 - ①嶮峨秋雄
 - ②一條周二
 - ③根本辰男
 - ④松居辰昭



9月例会 1位「紅を差す」カラー 一條周二

留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽8月例会(20日 審査互選)
 - ①高山亮太①②川上正己③澤岡政江・谷幹浩
- ▽9月例会(10日 審査互選)
 - ①松葉師正②畑忠幸③崎出恒夫④川上正己
- ▽10月例会(15日 審査互選)
 - ①②加藤美佳③澤岡政江
- ▽11月例会(19日 審査互選)
 - ①松葉師正②澤岡政江③④加藤美佳

釧路 支部長 岡本雄毅

- ▽9月例会(7日 奥野時夫審査員選考)
 - ①北構善一郎
 - 「漁具模様」
 - ②松坂正彦
 - ③中嶋淳一
 - ④鈴木敬司郎
 - ⑤長尾芳文
 - ⑥林田定昭



9月例会 1位「漁具模様」カラー 北構善一郎

余市 支部長 一戸弘利

- ▽8月例会(19日 審査互選)
 - ①③④⑤⑥石岡誠三②⑧谷橋準一②⑤⑥谷橋誠子⑤⑦⑧青木延弘⑥塩野謙造⑦一戸弘利
- ▽9月例会(16日 審査互選)
 - ①⑤⑧谷橋準一②④青木延弘②③石岡誠三
 - ⑤⑥⑦谷橋誠子⑧塩野謙造
- ▽10月例会(14日 審査互選)
 - ①⑥谷橋準一②④⑦塩野謙造③⑤石岡誠三
 - ⑤⑦青木延弘⑦谷橋誠子
- ▽11月例会(19日 審査互選)
 - ①④⑤塩野謙造②④一戸弘利③④⑤石岡誠三

岩見沢 支部長 山崎正義

- ▽8月例会(審査互選)
 - ①②中川昌子②中神由美子④鈴木佳夫⑤巖田祥健
- ▽9月例会(審査互選)
 - ①伊藤博章②中神由美子③中川昌子④鈴木佳夫⑤田中克彦
- ▽10月例会(審査互選)
 - ①④友広茂夫②巖田祥健③伊藤博章④田中克彦④堀口信義
- ▽11月例会(審査互選)
 - ①中神由美子②③中川昌子④木村克己⑤輪島礼子

函館 支部長 松山浩司

- ▽7月例会(26日 吉江・石島審査員選考)
 - ①保科俊②岩佐敏子③荒木憲幸(入選) 小池貞子・土田多江子・松山浩司・宗山和夫・佐藤真奈美・阪内孝二・土田弘志 他
- ▽9月例会(27日 吉江・石島審査員選考)
 - ①渡部啓②荒木憲幸③小池貞子(入選) 松山浩司・宗山和夫・土田弘志・佐藤真奈美・岩佐敏子・保科俊・岩本志・八木橋修悦・土田多江子・阪内孝二他
- ▽11月例会(1日 吉江・石島審査員選考)
 - ①宗山和夫②渡部啓②保科俊(入選) 松山浩司・荒木憲幸・土田多江子・土田弘志・阪内孝二・八木橋修悦・岩佐敏子・岩本志 他

室蘭 支部長 佐々木昇

- ▽9月例会(22日 中野潤子審査員選考)
 - ①②成田正利②浦野進③大坪恵子・栃元幸一・尾形和雄(入選) 浦野進③大坪恵子・鳥海政史・田村謙次・今井富夫・太田秀樹

旭川 支部長 馬場和美

- ▽8月例会(10日 福田・田本審査員選考)
 - (特選)①細川貞子②吉田祥子③白田忠雄
 - ④佐藤繁雅⑤森田正義(入選) 山本義則・白鳥敏昭・小山満・浦島寛・武田千枝子
- ▽9月例会(14日 田村健太郎審査員選考)
 - (特選)①②白鳥敏昭③吉田清治郎④小山満
 - ⑤佐藤繁雅(入選) 森田正義・浦島寛・白田忠雄・細川貞子・宮野和子・吉田祥子
- ▽10月例会(14日 田本實審査員選考)
 - (特選)①③細川貞子②小山満④吉田祥子
 - ⑤森田正義(入選) 白鳥敏昭・吉田清治郎・白田忠雄・武田千枝子・佐藤繁雅
- ▽11月例会(9日 田本實審査員選考)
 - (特選)①吉田祥子②細川貞子③山本義則
 - ④⑤白鳥敏昭(入選) 森田正義・小山満・浦島寛・佐藤繁雅

恵庭 支部長 西澤 實

- ▽8月例会(18日 審査互選)
 - ①吉村登美子③加藤憲秋・西澤實⑤田中康夫・山下支朗・中岡正美⑧佐野ミヨ・高橋興之助・菅原恵子
- ▽9月例会(11日 審査互選)
 - ①五東建夫②吉村剛③佐野ミヨ・坂田一紀⑤村井正人・田中康夫⑦山下支朗・菅原恵子⑨中岡正美・吉村登美子
- ▽10月例会(9日 審査互選)
 - ①加藤憲秋②高橋興之助③西澤實・吉村登美子・五東建夫⑥村井正人・吉村剛・田中康夫
- ▽11月例会(13日 加賀谷重雄審査員選考)
 - ①加藤憲秋
 - 「あつ! ティラノサウルスだ」
 - ②高橋興之助
 - ③服部健治
 - ④吉村剛
 - ⑤五東建夫
 - ⑥吉村登美子
 - ⑦田中康夫
 - ⑧佐野ミヨ
 - ⑨村井正人



11月例会 1位「あつ! ティラノサウルスだ」 加藤憲秋

編集後記 この1年を報発行に際しまして、執筆依頼を始め支部探訪、支部例会報告等の原稿をお寄せ頂き、厚くお礼申し上げます。(森)